

特集1

## 県大探検

特集2

## 県大生の実態調査

in 生協

突撃！ jimanな先生：高田豊文 教授

After school report：陸上競技部

News：地域デザイン・カレッジ

KENDAI JIMAN

### 県大イベントカレンダー

- |    |     |                                             |
|----|-----|---------------------------------------------|
| 2月 | 06日 | 調整期間（金曜日授業の補講等）                             |
|    | 08日 | 調整期間（月曜日授業の補講等）                             |
|    | 09日 | 調整期間（火曜日授業の補講等）<br>大学院入試（人間看護学研究科修士課程）      |
|    | 10日 | 調整期間（水曜日授業の補講等）<br>大学院入試（人間文化学研究科博士前期・後期課程） |
|    | 11日 | 調整期間（木曜日授業の補講等）<br>後期授業終了                   |
|    | 12日 | 後期定期試験（～18日）<br>大学院入試（人間文化学研究科博士前期課程）       |
|    | 19日 | 第13回セミナー（合説準備セミナー）                          |
|    | 22日 | 第14回セミナー（直前対策セミナー）                          |
|    | 23日 | 大学院入試（環境科学研究科博士前期・後期課程）                     |
|    | 25日 | 一般選抜前期試験                                    |
|    | 29日 | 大学院入試（工学研究科博士後期課程）                          |
| 3月 | 02日 | 企業研究会（～4日）                                  |
|    | 12日 | 一般選抜後期試験                                    |
|    | 21日 | 学位記授与式                                      |
|    | 22日 | 春季休業開始                                      |
| 4月 | 06日 | 入学式、新入生オリエンテーション                            |
|    | 07日 | 全学オリエンテーション、春季休業終了                          |
|    | 08日 | 前期授業開始                                      |
|    | 09日 | 新入生TOEICテスト                                 |
| 6月 | 06日 | 開学記念日（通常授業）                                 |
|    | 中旬  | 大学祭「湖風夏祭」                                   |
|    | 下旬  | 京滋公立大学総合競技大会（京滋戦）                           |
| 7月 | 09日 | 調整期間（火曜日授業の補講等）                             |
|    | 16日 | 調整期間（水曜日授業の補講等）                             |
|    | 18日 | 調整期間（月曜日授業の補講等）                             |
|    | 23日 | オープンキャンパス                                   |
|    | 24日 | オープンキャンパス                                   |
|    | 29日 | 調整期間（金曜日授業の補講等）                             |
|    | 30日 | 調整期間（木曜日授業の補講等）                             |
| 8月 | 01日 | 前期定期試験（～5日）                                 |
|    | 06日 | 夏季休業開始                                      |
|    | 08日 | 調整期間（集中講義）（～10日）                            |
|    | 19日 | 地域活動実践チーム（～21日）                             |
|    | 下旬  | 荒神山ロックフェス2016                               |

# 県大 jiman

特集

## 原点

県大 jiman18 号のテーマは「原点」です。

原点は私たちの出発点であり、源です。

これまで歩んできた道のりを県大と一緒に振り返ってみませんか。

今回の県大 jiman では、私たち県大生の原点とも言えるキャンパスに焦点を当ててみました。学部棟を探検したり、学生生活に迫ったり。

思わぬところに県大の魅力が隠れているかもしれません。

編集後記 テーマ：小さい頃の自分



昔は牛乳ばかり飲んでいました。  
生活デザイン学科 小川明香



体を動かすのが大好きでした。  
生活デザイン学科 本保絵莉子



人見知り、今もなお健在であります。  
生活デザイン学科 林 晶



面倒と感じる前にやってみようが  
モットーです。  
生活デザイン学科 中道千尋



がんこだけは昔から変わりません。  
人間関係学科 福本萌



この頃から今まで  
趣味は変わらず鉄道です。  
機械システム工学科 吉川知秀



3580 グラムで生まれました。  
生活デザイン学科 福田亮太郎



昔から葡萄が好きで、  
今でも夏は西瓜より葡萄です。  
事務局 今村圭吾



昔からおひとり様  
好きだったのかもしれない。  
事務局 中嶋崇裕



アンパンマンに憧れて育ちました。  
OB 高杉昭吾

## CONTENTS

### 特集

03 県大探検

07 県大生の実態調査 in 生協

### 県大REPORT

09 突撃!! jiman な先生：高田豊文 教授

11 After school report：陸上競技部

12 information

13 News：地域デザイン・カレッジ

## 学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。

私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。

デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。

外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

## 年2回発行

夏号 7月

冬号 2月

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第 18 号  
発行 | 滋賀県立大学広報委員会  
編集 | 広報誌作成グループ  
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500  
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470  
E-mail | keiei\_kikaku@office.usp.ac.jp  
発行日 | 2016 年 2 月  
www.usp.ac.jp  
紙面デザイン：中道千尋



A棟

## 共通講義棟



皆さんは普段使っている県大の建物のことをどれくらい知っていますか？

A棟は環濠に囲まれています。これは、県大を建設する時の設計者の内井昭蔵氏が「環濠集落」をイメージして設計されたからです。ちなみに環濠の水は水産試験場を介して琵琶湖の水を引いてきているそうです。A5棟からセンター広場を眺めると、正面には荒神山が見えます。これは設計時に計画されたものであり、荒神山山頂からセンター広場の中心までを一直線で貫いています。これはまさに軸と言えるでしょう。センター広場から見る荒神山は手前に見える環濠も相まってまるで富士山を見ているようです。

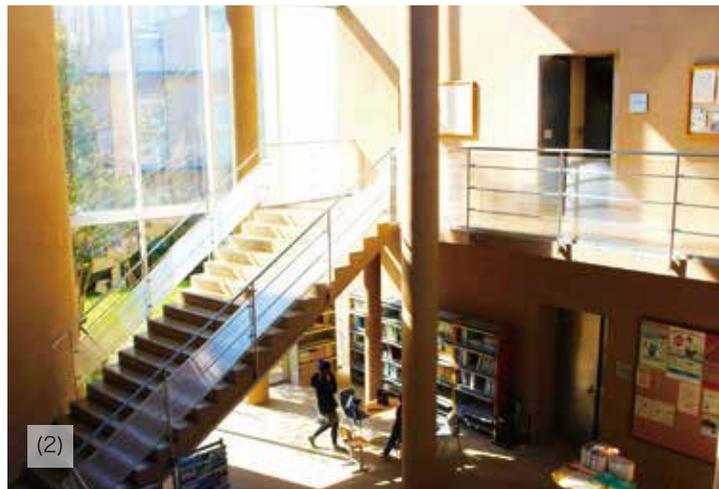
共通講義棟の不思議な点に気付いていますか？A棟を順番にたどるとA0、A1、A2、A3、A4、A5、A7：あれっA6が無い！ではA6棟はどこにあるのでしょうか？地図には確かにA6棟はあります。しかし、いくら探しても見当たりません。

実はカフェテリアと生協ショップがA6棟なんです。カフェテリアをA2棟の一部だと思っていた人も多いのではないのでしょうか。A6棟のメインは電力などの中枢を担うエネルギーセンターになっています。A6棟の中で学生が利用しているのは実際は三割しかないんだとか。

(1) 県立大学は大学の建物として唯一公共建築百選に選ばれています。公共建築百選とは、建設省（現在の国土交通省）の設立 50 周年を記念して、昭和 23 年から平成 7 年までの全国の優れた公共建築を選定したものです。(2) 平成 25 年 3 月に完成した A7 棟は他の A 棟とは異なり木造建築になっています。この中には講義室の他にも自習室や、同窓会館などがあります。この棟の特徴は自習室と通路の間にある様々な形をした格子です。これは環境科学部環境建築デザイン学科の高田先生が研究されている面格子壁というものです。(この詳細は突撃!!jiman 先生 (P.9,10) を参照)



(3)



(2)



(4)

B棟の特徴と言えばやはり斜めになった柱と緩やかな曲線を描いている通路だといえるでしょう。また、この通路から枝分かれして実験室、演習室があります。

トイレと階段が入り組んだ迷路のようなB棟。くねくねと曲がった長い廊下にややこしい階段、一見不便のように見えますがちゃんと理由があります。実は階段を廊下の中央につけることで、学生が必ず廊下を歩くようになっていくんです。学生同士のコミュニケーションを狙ったものなんだとか。迷わないためには、1階から3階へとつながる階段は廊下の中央についていると覚えておけば大丈夫です。

県大探検いかがでしたでしょうか。皆さんもまだまだ知らない県大を探検してみませんか。今後もC棟、D棟、E棟と順に紹介していく予定です。あなたの知っている県大の面白いところ、発見がありましたらぜひアンケートにてお聞かせください。



# 環境科学部棟

B棟



(1)

(1) 県大には鴨やアヒルが多くいるのは知られていますが、他にも動物がいる事をご存知ですか？実は県大では羊が飼われていて、ここで見る事が出来るんです。普段自分のいるキャンパスにまさか羊がいるとは思いませんでしたので、本当に驚きです。(2) B棟の中央棟であるB0棟はアーチ状の屋根に覆われています。中は吹き抜けになっており、広々とした空間になっています。(3) B棟を圃場の方へ向かっていくと、見たことのないような実験施設や温室などが沢山あります。普段の学生生活ではあまり足を運ぶことのない場所にあるので、行ったことのない人も多いのではないのでしょうか。取材で特に目を引いたのが、透明な箱のような装置の中で様々な環境を設定して稲を栽培することができる機械（人工気象装置 P2 実験室）でした。(4) B棟は県大の建物の中では琵琶湖側にあるので、琵琶湖の景色を楽しむことができます。B1棟とB2棟の間の通路からは、多景島や対岸の町並みを見ることが出来ます。

# 生大の in生協 実態調査

滋賀県立大学生生活協同組合のショップ（以下、生協ショップ）。  
多くの学生がここを利用しています。  
みなさんは、どういった目的で生協を利用しているのか？  
利用しているみなさんを突撃しました！  
そこからあなたの知らない学生生活が垣間見えるかも！



(生活栄養学科 2回生 高台さん)

「管理栄養士の資格を取るために学ばないといけないことが幅広くあって、専門知識をしっかりとつけるために教科書が必要です。」と、高台さん。

学科によって大学で学ぶ内容によって教科書の量が違います。生活栄養学科や人間看護学科の人は教科書の金額が大きくて大変なんだとか。  
「本の予約にきました。」(電子システム工学科 4回生 和田さん)  
さらに生協では本の予約ができます。和田さんは、今回はゼミで使う本の予約をしにきたとのこと。生協では教科書を買うために利用する人もいます。



(人間看護学科 2回生 松田さん、田中さん、蓮井さん)

雑誌コーナーの前で友達としゃべっていた3人の学生に突撃。  
雑誌は、ここで買うことが多いですか？という質問に  
「ここで買います、10パーセントオフになるし。」  
生協ショップで書籍を購入する場合、生協組合員だと10パーセントオフになります。漫画も雑誌も小説も教科書も、です。ぜひ利用したいですね。



(環境建築デザイン学科 2回生 古田さん)

スチレンボードを買いに来た環境建築デザイン学科の人がいました！  
「建築の模型を作るのに利用します。ボードの厚さもいっぱいあって便利です。」と、古田さん。このスチレンボードの名前や用途を知らない人もいるのではないのでしょうか。学習に必要なものがすぐそばにあるのは本当に便利だと思います。その他にも様々な製図道具など、環境建築デザイン学科には欠かせないものが揃っています。



(地域文化学科 1回生 貴志さん)

生協にご飯を買いに来る人は結構多くいるようです。お昼時はパンやカップ麺お弁当を買いに来る人が多いですが、最近ミール(※)が生協でも使えるように

五限以降にパンやスープを買いに来ている学生に突撃。  
「晩ご飯です！」  
スープなどは、生協でお湯を入れて食堂でみんなと喋りながら食べているそう。下宿生じゃなくても電車で家まで帰ると夜ご飯まで遅くなりますよね。買おうか迷っていたパンを持って写真に写ってくれました。



(人間関係学科 4回生 佐竹さん)

になりました。ミールについて「生協でも使えるようになったのが便利で嬉しい。」(生活デザイン学科 2回生 橋本さん)という声もありました。

CD-Rを買いにきている人も。軽音部に入っていて、音源を渡すために買いにきました。」

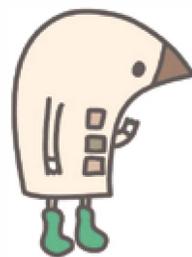
実はこういったCD-RやUSB、充電器なども充実している生協ショップ。本当は家にあるんだけど、家に忘れてきて…。という事で購入されていました。



(材料科学科 1回生 湯地さん)

生協ショップでバイトしている学生にお話しを聞きました。  
「家が大学の近くで、大学周りにはバイトできるお店は少なく、また、バイトをしに遠くまでいくのは天候が悪化した時のこと考え、ここのバイトを選びました。」  
大学の周りより、ベルロードや近くのき通りまで行った方がお店がたくさんあります。しかし、そこまで行くためには、自転車でも10〜15分かかりますので、家が大学の近くの人にとってはいい職場なのかもしれません。

サークルに、友達に、ご飯に、学業に、色々な目的のために生協ショップを利用していました。この他にも、お菓子コーナーには、友達と買いにきて、空きコマで食べる人、体育の後に飲み物を買ってくる人、買ったカップ麺をにその場でお湯を入れたり、通学のためのバスの回数券を買いに来たり、大学の先生たちも実は利用していたり…。同じ県大生でも生協ショップを利用する背景はやっぱり違いますね。



県大生協キャラクター  
ケンちゃん

※ミールとは事前の食費をまとめて払い、1日の利用上限内であれば食堂・生協ショップで自由に食事を予約できるシステムです。

# 地域に根ざした研究で 未来を創る



環境建築デザイン学科

高田豊文先生

突撃!!

# じまの先生



## 建築構造の分野から 木材の有効活用へ貢献

高田先生の研究分野は大きく分けて主に二つある。一つは数学を用いて構造的に強いものを作るといふ応用力学

の分野、もう一つは木造建物の耐震安全性に関する分野である。その中でも特に木造の建築耐震補強方法として面格子壁に着目して研究をされている。

この面格子壁は、耐震補強に用いられている合板や筋交いでは光や風が通らないといった居住性の課題を解決するだけでなくデザイン性にも優れているという特徴を持っている。そのデザインに対する可能性を探るため、強度の高い形をコンピュータを用いて求め、実際に作った試験体で性能評価実験も行われている。

またこの研究でのメリットは環境、林業に対して配慮ができることである。従来構造材として用いられるのは、大きな直径や長さのある製材である。しかし面格子壁では、複数の部材で全体の強度を保つため、一本だけが悪くても性能は低下しない。このことで従来捨てられていた細い材料や節のある木材、森林管理で発生する間伐材を用いることができるのである。

後使えるようになる」と建物を作るときに壁や筋交い、面格子壁といったような選択肢があることで耐震補強に可能性を広げていきたいと考えておられる。

## 今の研究の原点とは・・・

先生は学生のころから地震に対して建物はどうやって強く作ったらよいかに興味があったそうだ。その当時は耐震よりも応用力学がメインに研究をしていたそうだ。その後三重大学に行かれた後は地震防災についてもやっておられた。そのうち高田先生自身の出身地である滋賀の地元の人のために役立ちたいと思い、県大にこれだそう。以前から先生は地震防災や耐震安全性ということに関して興味があり、それを滋賀県で何かうまく貢献できることはないかと思っていたところ、古民家の耐震改修というのがあり、今の研究にたどりついたそうだ。

## 課外授業を通して地域を知る

高田先生は、木匠塾という授業を担当されている。木匠塾には、多賀町で行う多賀木匠塾、奈良県川上村で行う川上村木匠塾、そして岐阜県加子母村で行う加子母村木匠塾がある。これらの授業では、物を作るときにはそれぞれの地域の木材を使う。またその地域

の林業について、実際に働いている人から話を伺ったり、間伐作業を行ったりもしている。そして最後に、遊具などといった施設を学生が設計して作っているのである。その制作作業には、先生自身も参加しているそうだ。先生は、この授業について、「授業の環境で木と関わり、木を通して、人と関わるということを大事にしている。」とおっしゃっていました。

## 学生の皆さんにこれからの生活へのメッセージを!

「いろんなことにチャレンジしてほしいですね。時々、これは自分の役に立たないから勉強しない」とか、役に立つこれを勉強しよう」と言う学生がいます。ですので、役に立つかどうかなんていうのは学生のせいぜい20年くらい生きたところでは分からない。まだこれから今後役に立つかもしれないし、そういう意味でいろんなことを学んで欲しいし、いろんなことにチャレンジしてほしいし、得意でないからといってやめてしまわないようにしてほしいと思いますね。」



高田豊文(たかだ・とよふみ)

環境建築デザイン学科 教授

2014年10月ー現在

環境建築デザイン学科 准教授

2007年04月ー2014年09月

最適化技術の建築構造分野への応用研究を研究テーマとし、数学分野で発展した最適化手法を、建築構造物の設計・解析に応用、コンピュータ支援による合理的かつ効率的な設計を行うための研究を行っている。また、木造建物の耐震安全性に関する実験的研究も行っている。

**受賞・表彰**

教員

機械システム工学科 山野 光裕准教授  
日本設計工学会研究発表講演会  
優秀発表賞

材料科学科 バラチャンドラン・ジャヤデワン教授  
第20回国際磁気学会  
ベストポスター発表賞

人間関係学科 杉浦 由香里准教授  
教育史学会第59回大会  
第5回教育史学会研究奨励賞

生活デザイン学科 南 政宏助教  
Pentawards 2015 食品部門  
SILVER AWARD

生活デザイン学科  
【教員】山田 歩助教  
【学生】三輪あさひ、宮下絵里、野村菜津美、一ノ瀬萌（4名とも3年）  
石州和紙デザインコンペ2015  
・中国経済産業局長賞  
・千葉すず賞

生活栄養学科 今井 絵理准教授  
ネスレ栄養科学会議  
論文賞

人間看護学科  
糸島陽子教授、伊藤あゆみ助教  
第39回日本死の臨床研究会  
2015年度論文奨励賞

学生

生活文化学専攻博士後期課程  
関根 愛莉（1年）  
日本アミノ酸学会第9回学術大会  
優秀ポスター賞

材料科学専攻博士前期課程  
山崎 未奈（2年）  
日本繊維機械学会第68回年次大会  
会研究発表会  
ベストポスター発表賞

材料科学専攻博士前期課程  
吉田 圭佑（2年）  
第47回日本セラミックス協会ガラス部会夏季若手セミナー  
優秀ポスター発表賞

生活デザイン学科 生田 圭（4年）  
・2015読書週間ポスターイラス  
トコンクール 優秀賞  
・ぎょうざTシャツデザインコンテスト  
アース賞

環境動態学専攻博士後期課程  
小杉 亜希（3年）  
第5回メタロミクス国際シンポジウム  
優秀ポスター賞

材料科学専攻博士前期課程  
河端 秀和（2年）  
第64回高分子討論会ゲルワーク  
シヨップイン仙台優秀ポスター賞  
優秀ポスター賞

生活デザイン学科 加藤 彩香（2年）  
かみの工作所「ペーパーカード」  
デザインコンペ2015  
審査員賞「スイッチデザイン賞」

材料科学専攻博士前期課程  
山花 広樹（1年）  
平成27年度プラスチック成形加工学会関西支部若手セミナー  
ベストポスター賞

生活文化学専攻博士前期課程  
長谷川 洋佑（2年）  
第54回日本生気象学会大会  
若手・学生発表部門優秀賞

ウィンドサーフィン部 森 祐太  
（環境科学部生物資源管理学科4年）  
・全日本学生ボードセイリング連盟（JUBF）  
ナショナルチーム選考会5位  
・テクノ293ワールドチャンピオンシップ2015テクノプラス  
メンズクラス2位  
・2015年全日本学生ポートセイリング選手権大会テクノ293クラス（A・17デビジョン）  
メンズクラス1位

生活デザイン学科  
小林 知佳（2年）  
富山デザインコンペティション  
準とやまデザイン賞

一ノ瀬萌、三輪あさひ、野村菜津美、  
宮下絵里、木村毅（5名とも3年）  
Student Innovation College  
2015  
博報堂賞

**卒業生・修了生**

生活文化学専攻2012年度修了  
高杉 昭吾  
アジアデザイン賞2015  
金賞

**人事**

着任

白井 宏昌  
環境科学部 准教授  
（平成二十七年七月一日付）

小泉 尚嗣  
環境科学部 教授  
（平成二十七年十月一日付）

吉山 浩平  
環境科学部 助教  
（平成二十七年十月一日付）

森久 友紀子 総務グループ 主任主事  
（平成二十七年十月一日付）  
堀江 由視 教務グループ 主任主事  
（平成二十八年一月一日付）

退職

北辻 志保 総務グループ 主任主事  
（平成二十七年九月三十日付）  
矢野 圭昭 財務グループ 副主任  
（平成二十七年十二月四日付）  
山埜 弘貴 教務グループ 主事  
（平成二十七年十二月三十一日付）



## After School Report 陸上競技部

写真左から順に県大グラウンドとリレーメンバーの皆さん、今年度の滋賀県選手権大会の様子、福井で行われた夏合宿の様子。

この夏、陸上競技部は滋賀県陸上競技選手権大会の個人・団体競技で入賞し、近畿大会出場という素晴らしい戦績を納めた。  
今回は4×100m男子リレーで活躍した5名の選手を直撃取材！

陸上競技部 /  
部員数：46人（2015年11月現在）  
活動日：月・水・土（+ 自主練習2日）

授業の合間の教室移動の際などに、グラウンドでオレンジ色の服装をした人達が走っている光景を見たことはないだろうか。今回取材を快く引き受けて下さった代表の井上亮さん、川合広留さん、樋口雄紀さん、疋田天希さん、西村成貴さんはこの陸上競技部のシンボルとも言えるジャージ姿を見せてくれた。

**陸上競技部の魅力ってなんでしょ？**

陸上競技部には競技に出ることに重点を置く人や、健康に気を遣っている人など、様々な目標を持った人達がいる。  
「それぞれの目標に向かって努力している中で、部の雰囲気も大変明るく、楽しい部活だと僕は実感しています。」井上さんがそう語ると、周囲も和やかな笑顔を見せた。

ところで、皆さんは走っている時に何を考えているのですか？  
ほとんどのメンバーは口を揃えて答えた。「試合中は無心で走っています！」  
一方で、練習の際はそれぞれに最も速く走ることが出来る理想の

フォームを頭の中に思い浮かべながら走るそうだ。本番前には練習の成果を活かせるようにイメージトレーニングも欠かせない。

**自分達でグラウンドの整備を行っているとか！**

「部活動終了後など時間のあるときに、部員で草むしりやグラウンドの凹凸をならす作業などを行っています。」

滋賀県立大学のグラウンドは雑草が目立ち、走りやすい環境とは言えないかもしれない。しかし陸上競技部は、皆が使いやすいようにグラウンドの整備を行い、かつ、戦績を挙げている堅実な部活動という一面を覗かせる。

**陸上競技部の次の目標を教えてください！**

「個人・団体で、来季の関西インカレ（関西学生陸上競技対抗選手権大会）に入賞すること、滋賀県陸上競技選手権大会に入賞し、近畿大会へ出場することです！」

目標に向かって実直な努力を重ねる陸上競技部。来季の活躍にますます期待が高まる。

### リレーメンバーの皆さんに Question! 「あなたのエネルギーの原点は何ですか？」



# 近江八幡

## 近江八幡デザイン・カレッジ

「地域デザイン・カレッジ」の第1号は、2014年7月に近江八幡市で発足しました。ますます多様化する地域課題に対応するため、地域ネットワークを強めるとともに、地域課題を解決するための人材育成の拠点です。まちづくり、伝統文化、健康福祉、地域産業、自然環境などあらゆるテーマへの取組みを対象としています。これまで、大学COO事業の「公募型地域課題研究」と連携し、西の湖の保全と活用に関するワークショップやフォーラムを実施した他、地域が誇る千年つづく火祭りについてその伝統や技を次世代に継承することを考えるセミナーなどを開催しました。設立以来、市内外から延べ約400名の参加を得て活発に活動しています。



- 活動拠点 株式会社まっせ内
  - 運営団体
  - 滋賀県立大学
  - 近江八幡市
  - 近江八幡商工会議所
  - 安土町商工会
  - 株式会社まっせ
- <http://coc-biwako.net/omihachiman.html>

# 地域デザイン・カレッジ

## Regional Site for Community Co-design



### 地域デザイン・カレッジとは

「地域デザイン・カレッジ」は、大学の研究者・学生をはじめ、多様な人が集まり、地域の課題を解決するための学びと実践を行う地域の拠点です。大学の教育・研究を実践するための受け皿という機能も持っています。この最終到達点は、各連携自治体における地域人材育成拠点の設置です。拠点の整備には地域のさまざまな連携と協力が必要なため、行政をはじめとする関係者と協議を重ねて段階的に取組みを推進しています。2016年1月現在、近江八幡市、彦根市、米原市、東近江市、長浜市で設立されています。この他の連携自治体における取組みも推進していく予定です。

- 1— 地域課題を扱う  
断続的な集まりなど
- 2— 地域課題に継続的に  
取組む研究会など
- 3— 地域活動を持続的に  
行う拠点整備
- 4— **地域課題解決**  
**地域人材育成拠点**

## HIKONE

# 彦根

## 彦根デザイン・カレッジ 荒神山キャンパス

彦根市では2015年4月に設立されました。活動エリアを荒神山周辺地域に絞り、環境の保全・改善、産業の振興・創出、地域人材の育成に取組んでいます。山林の保全活動として間伐による里山整備を定期的に行う他、山沿いを流れる宇曾川の清掃も行っています。また、大学の授業「環境フィールドワークII」「地域実践学」「地域再生システム論/特論」や、「近江楽座」プロジェクト、彦根市の地域課題に取り組んだ5件の「公募型地域課題研究」との連携も積極的に行ってきました。この他にも、地域資源の活用による雇用創出フォーラムを地域の市民団体と主催するなど、地の利を生かしてさまざまな活動を行っています。



- 活動拠点
  - 彦根市荒神山自然の家内
  - 平成27年度連携団体
  - 滋賀県立大学
  - 彦根市/彦根市荒神山自然の家
  - 荒神山山王会
  - 荒神山を愛する仲間の会
- <http://coc-biwako.net/hikone.html>

# 近江八幡

## 近江八幡デザイン・カレッジ

「地域デザイン・カレッジ」の第1号は、2014年7月に近江八幡市で発足しました。ますます多様化する地域課題に対応するため、地域ネットワークを強めるとともに、地域課題を解決するための人材育成の拠点です。まちづくり、伝統文化、健康福祉、地域産業、自然環境などあらゆるテーマへの取組みを対象としています。これまで、大学COO事業の「公募型地域課題研究」と連携し、西の湖の保全と活用に関するワークショップやフォーラムを実施した他、地域が誇る千年つづく火祭りについてその伝統や技を次世代に継承することを考えるセミナーなどを開催しました。設立以来、市内外から延べ約400名の参加を得て活発に活動しています。



- 活動拠点 株式会社まっせ内
  - 運営団体
  - 滋賀県立大学
  - 近江八幡市
  - 近江八幡商工会議所
  - 安土町商工会
  - 株式会社まっせ
- <http://coc-biwako.net/omihachiman.html>

## MAIBARA

# 米原

## 米原デザイン・カレッジ

米原市では2015年7月に設立されました。市では、人口減少や山間地域の過疎高齢化に伴い、これからより深刻化していくさまざまな地域課題に対して、市民と行政が協働して課題解決にあたるまちづくりの実現に向けた取組みを進めています。地域デザイン・カレッジでは、市が主催した「みんなで作る総合計画 総合計画市民ワークショップ」に本学地域共生センター教員がファシリテーターを担うかたちで活動をスタートしました。今後、市の取組みと連携しながら、協働のまちづくりに取り組み人材育成を目指して行きます。引き続き、市民がまちづくり手法について学ぶことができる機会を設けていく考えです。



- 活動事務局
  - 米原市政策推進課内
  - 運営団体
  - 滋賀県立大学
  - 米原市
  - ルッチまちづくりネット
- <http://coc-biwako.net/design-college/maibara.html>